



第14号：7月のイベント



ページ1～7

【糸東会ニュース】

- ・令和7年度 糸東会東西ジュニア強化練習会兼ユースリーグ選考会
- ・ジュニア強化台湾遠征

：8月のイベント



ページ8～16

【糸東会ニュース】

第65回 空手道糸東会 全国選手権大会

東京武道館



ページ17～22

【糸東会ニュース】

第2回糸東会トップアスリート トナショナルチーム強化合宿



ページ23～24

【糸東会ニュース】

第8回レベルアップ講座 (九州地区)

日時：令和7年7月12日（土）10：00～16：00
13日（日）10：00～16：00

場所：中部学院大学（岐阜県関市）

令和7年度糸東会東西ジュニア強化練習会が岐阜県関市にある中部学院大学で行われた。1日目は組手選手、2日目は形選手の強化練習会が行われた。

今回の強化練習会では、本年12月初旬に予定されております海外派遣事業ユースリーグ（イタリア・ベニス）に派遣する選手の選考会を兼ねており、4名の選手が選考された。

派遣選手

- ・小学6年生 女子形 西日本強化選手
梁 心優 （りょう みゆう）選手
- ・小学6年生 女子組手 西日本強化選手
沼田 秋ノ桜 （ぬまた きのは）選手
- ・中学3年生 男子形 東日本強化選手
今村 拓人 （いまむら たくと）選手
- ・高校1年生 男子組手 西日本強化選手
高野 秀斗 （たかの しゅうと）選手



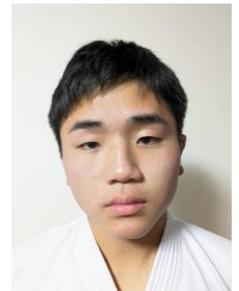
梁 心優選手



沼田秋ノ桜選手



今村拓人選手



高野秀斗選手



ジュニア強化台湾遠征

日 程： 令和7年7月24日（木）～27日（日）

場 所： 台湾 南投市

参加選手： 組手 山口愛菜（中2）

形 福井敢太（中3） 吉川亜里（中2） 和田丈太郎（中1）

稲田美咲（小6）

帯同コーチ： 稲田隆宏

主な行程：

◎ 7 / 24（木）：初日

関西国際空港より台湾に向けて出発。

台北桃園国際空港到着後、南投市のホテルへ移動しチェックイン手続きをする。

チェックイン後、台湾チームの道場にて台湾コーチ陣選手との挨拶をして練習に参加。

<練習メニュー>

台湾コーチのもと体操・基礎トレーニング・組手の練習を行い、台湾チームとのコミュニケーションを図った。

◎ 7 / 25（金）：二日目

台湾チーム道場にて合同練習を行う。

<練習メニュー>

午前：体操・サーキット・ミット使用による組手のウォーミングアップを全員で行った。2人組でミットを使用して、突きと蹴りの練習。前後左右の動きを入れ蹴り技中心に練習。慣れない動きへの戸惑いも、台湾の選手達が丁寧にレクチャーをして頂き、お互いに褒め合いながら楽しく思いっきり練習ができた。台湾選手の身体能力の高さとスピード、体感の強さに圧倒されるが、日本の選手も負けないように懸命に頑張る姿が見られた。

午後：稲田コーチによる基本練習と形の指導（バッサイダイ・ニーパイポ）を行った。基本はさすが日本の選手の方がしっかりできており、糸東会の細かい形の指導を行った。台湾の選手も、きつい基本稽古もしっかり取り組み、日本の選手の形を見て真似をして真剣に取り組んでいました。

一日を通して大変良い練習会となり、台湾の選手とも親睦が図れた。

◎ 7 / 26（土）：三日目

午前：親善試合を行い、審判は台湾の一般選手が実施。

台湾の高校生との試合となったが、形試合は、日本選手の形の技術の高さ、細かい動き、軸のバランス、緩急の良さが特に際立った。台湾選手は立ち方の不正確さや、過度の息吹が目立った。

組手試合は、形選手も全員参加し積極的に試合に参加した。台湾のディフェンス力の高さや蹴り技の豊富さ、相手と組んだ後のチャンスに変える勝負強さが勉強になった。

午後：昼食後、台湾のコーチ、高校生の選手も一緒に観光を行った。古い町並みや台湾の鉄道、お土産屋さんなどの各名所を案内して頂いた。また、夜は夜市を観光しながら屋台など台湾の食事や文化に触れ参加選手の良い表情が窺えた。

◎ 7 / 27 (日) : 最終日

台湾チームの見送りを受け台北桃園国際空港から関西国際空港への帰路に就いた。

関西国際空港到着後解団式を行い、稲田コーチより、「今後の空手人生にこの経験を生かして活躍して欲しい」と労いの言葉を頂いた。

今回の台湾遠征でお世話になった台湾チームの監督・コーチ・選手の皆さん、参加して頂いた日本選手の皆さん、遠征に携わって頂いた関係各所の皆様に深く感謝申し上げます。

【参加選手感想】

■福井敢太（中3）

ぼくは台湾遠征に行くのは今回で2回目です。数日前から発生してた、台風が心配でしたが、大きな影響もなく、無事に台湾に到着することができました。

今回は初日から台湾の選手とコミュニケーションがしっかりと取れたと思います。練習や練習試合で自分にまだ足りないところがみつき、次の試合までにそれを何度も練習して試合で勝てるようにしたいです。台湾の人達はとてもおもてなしが素敵でびっくりしました。

今回ぼくはリーダーと言う大役を任せられ、やり遂げられたかはわからないけど、チーム Japan のみんなと協力して良い台湾遠征ができました。遠征に参加させてくれた両親、飛行機やホテルの手配をしてくださった四ツ谷さんに感謝です。そして稲田先生をはじめいっしょに遠征に行った仲間や台湾でお世話になった台湾監督、台湾チームの選手にも感謝です。この遠征で学んだこと、経験したことをこれからの空手人生に生かしたいです。

ありがとうございました。

■山口愛菜（中2）

初めての台湾遠征を通じて、多くのことを学ぶことができました。それと同時に、自分自身の課題も見つけることができました。台湾の方々とコミュニケーションを取ることはとても難しく感じましたが、言葉が通じなくても、ジェスチャーなどを使えば気持ちを伝えることができると知り、大きな気づきとなりました。それでも、やはり現地の言葉を少しでも知っている、とても便

利だと実感しました。

このような貴重な経験をさせていただいた先生方や家族に、心から感謝しています。

これからも、さまざまな外国語を学び、また海外へ行ってみたいと思いました。今回は本当にありがとうございました。

<組手試合結果>

7-0 勝ち

3-0 勝ち

5-1 勝ち

■吉川亜里（中2）

私はこの夏、糸東会の強化チームの一員として台湾遠征に参加しました。初めての海外遠征で、出発前はとてもドキドキしていましたが、今では参加して本当によかったと思っています。台湾に着いてまず感じたのは、暑さと湿気の強さです。でも、現地の人たちはとても親切で、すぐに安心することができました。遠征中は、現地のチームと試合をしたり、一緒に練習をしたりしました。言葉は通じなくても、空手を通して気持ちが伝わるのがとても楽しくて、うれしかったです。また、空き時間には台湾の観光も楽しみました。夜市ではいろいろな食べ物を食べたり、お土産を買ったりして、日本ではできない体験がたくさんできました。道場とは違う友達もでき、チームの仲がとても深まった遠征になったのでよかったです。

今回の遠征を通して、私はもっと努力しようと思うようになりました。そして、世界にはいろいろな人がいて、言葉が通じなくても空手を通して友達になれるということも学びました。このような貴重な体験をすることができてとてもよかったです。引率していただいた稲田先生本当にありがとうございました。

■和田丈太郎（中1）

僕は、海外での遠征は初めてでした。今回の台湾遠征は、気づいたことやこれからの改善点が沢山ありました。組手の練習で気付いたことは、台湾の方たちは一本の突きだけではなくコンビネーションを使って攻撃をされていて、僕はコンビネーションをあまり使わないから台湾の人たちを見てコンビネーションをたくさん練習して試合で取り入れたいと思いました。また、組手で改善したいことは、自分から攻撃をすることです。僕が練習試合をしていて自分で攻めた回数はとても少なくてカウンターばかり狙っていたので、もっと攻める姿勢で対戦していこうと思いました。練習では、僕の道場では使わないミットやサンドバックを使って蹴りの練習ができたことやミニハードルを使って足の位置を決める練習ができたことは、よかったです。あと、台湾の方が蹴りの練習中にジェスチャーでこうの方がいいとアドバイスをくれたのがとても分かりやすかったです。形の練習では、道着を叩かないことや足をどんとどんといわせないこと、シュッシュ言わないことを指摘してもらい、基本に戻り自分の癖を直さないといけないということを改めて感じました。親善大会では、形をうって日本の人や台湾の方も関係なく気合いをした瞬間に大きな拍手をしてくれていて、日本にはない光景だったのでビックリしました。でも、これも文化の違いなのかなーと思ったり

しています。僕はコミュニケーションをとるのが苦手ですが、台湾の方はとてもやさしくて翻訳機で訳して話しかけてもらえたり、現地の言葉をおしえてもらえたりしてとても嬉しかったです。これからは、僕も積極的になろうと思いました。海外での練習は初めてとても緊張したり、不安になったけれど、稲田先生や日本のみんながいたおかげで緊張もほぐれて、台湾の方とも話せたからよかったです。この台湾遠征に行ってとても良い経験になり、空手の仲間も増え大切な思い出になりました。台湾の方たちや稲田先生本当にありがとうございました。

試合の結果

<形> 1回戦 バッサイダイ 0-5 負け

2回戦 ニーパイポ 3-2 勝ち

3回戦 パープレーン 4-1 勝ち

<組手> 4-0 勝ち

■稲田美咲（小6）

今回初めて台湾遠征に参加して、海外で初めて空手を練習しました。そこでは、台湾の人達とたくさん仲良くなり、楽しく空手の練習が出来ました。他にも普段あまり会うことのない日本代表の人とも仲良くできて良かったです。自分の練習では、自分のくせや気を付けなければならないことがよく分かりました。まず、自分のくせでいうと、みんなの前で通すというときの事では、緊張して受けや動きなどが小さくなってしまふことが分かりました。それに、上手な人と比べると、力が入ってしまうことで動きが遅くなってしまったり、小さくなってしまったりもしていました。基本練習では、大切なことは体重移動だと分かりました。私は形で寄り足の時など移動するときに、後ろにお尻が残り、移動する前にしっかり前足に重心がのって なかったので、基本に忠実にしっかり足から動いてしっかり体重移動をするという事が大切なことだと分かりました。今回の台湾遠征で学んだことをこれからの練習にもしっかり活かしていきたいと思います。今回このような経験をすることができて空手がより好きになりました。ありがとうございました。また遠征があればどんどん積極的に参加したいと思います。

試合の結果

<形> 1回戦目 0-5 負け

2回戦目 2-3 負け

3回戦目 5-0 勝ち

<組手> 1回戦目 3-4 負け

次の、試合形式練習では、全勝したいです。それに、これからも台湾の人たちともとても仲良くなり、しっかり楽しく、みんなと一緒に頑張りたいです。



日本チーム集合写真



練習の様子



台湾チームとの集合写真



福井敢太選手・和田丈太郎選手・吉川亜里選手・山口愛菜選手・稲田美咲選手

第65回空手道系東会全国選手権大会（東京武道館）

日 時：令和7年8月16・17日（土・日）

場 所：東京武道館（東京都足立区）

※全国大会詳細につきましては、次号会報誌No.288でご紹介致します。



埼玉県系東会 栗生田先生による
開始合図の大太鼓

北原理事長による開会宣言

摩文仁宗家挨拶



岩田会長挨拶

公益財団法人 全日本空手道連盟
笹川 堯名誉会長挨拶

大会審判長・副審判長紹介



大会役員の方

ご来賓の皆様



系東会表彰の皆様



選手宣誓をして頂いた林選手のご家族との記念撮影



大会ドクターの先生方



大会会場の様子



1日目：形競技の様子



1日目：組手競技の様子



幼児男女形入賞者



小学1年生男子形入賞者



小学1年生女子形入賞者



小学2年生男子形入賞者



小学2年生女子形入賞者



小学3年生男子形入賞者



小学3年生女子形入賞者



小学4年生男子形入賞者



小学4年生女子形入賞者



小学5年生男子形入賞者



小学5年生女子形入賞者



小学6年生男子形入賞者



小学6年生女子形入賞者



幼児男女組手入賞者



小学1年生男子組手入賞者



小学1年生女子組手入賞者



小学2年生男子組手入賞者



小学2年生女子組手入賞者



小学3年生男子組手入賞者



小学3年生女子組手入賞者



小学4年生男子組手入賞者



小学4年生女子組手入賞者



小学5年生男子組手入賞者



小学5年生女子組手入賞者



小学6年生男子組手入賞者



小学6年生女子組手入賞者



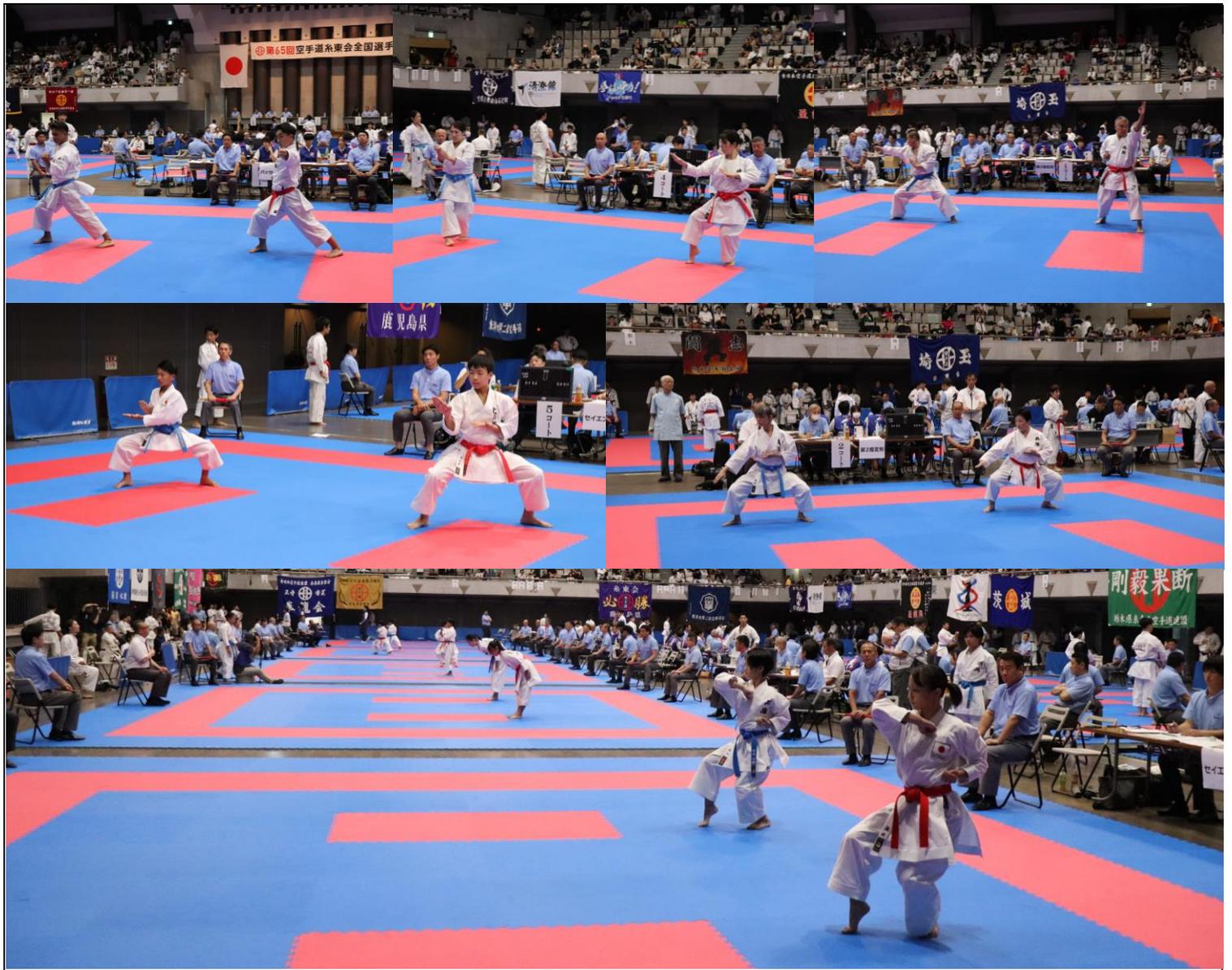
団体戦小学生優勝大阪府



団体戦小学生準優勝埼玉県



団体戦小学生第3位茨城県



2日目：形競技の様子



2日目：組手競技の様子



中学1年男子形入賞者



中学1年生女子形入賞者



中学2年生男子形入賞者



中学2年生女子形入賞者



中学3年生男子形入賞者



中学3年生女子形入賞者



少年男子形入賞者



少年女子形入賞者



一般男子形入賞者



一般女子形入賞者



シニア男子一部形入賞者



シニア女子一部形入賞者



シニア男子二部形入賞者

シニア女子二部形入賞者



中学1年生男子組手入賞者

中学1年生女子組手入賞者

中学2年生男子組手入賞者



中学2年生女子組手入賞者

中学3年生男子組手入賞者

中学3年生女子組手入賞者



少年男子組手入賞者

少年女子組手入賞者

シニア男子一部組手入賞者



シニア女子一部組手入賞者

シニア男子二部組手入賞者

シニア女子二部組手入賞者



一般男子-67Kg組手入賞者

一般男子-75Kg組手入賞者

一般男子オープン組手入賞者



中高一般団体組手優勝兵庫県

団体戦大学生優勝中央大学

※第65回空手道糸東会全国選手県大会結果につきましては、HPに掲載。

第2回糸東会トップアスリートナショナルチーム強化合宿

日時：令和7年8月23日（土）13：00～17：00

令和7年8月24日（日）09：30～16：00

場所：糸東会本部道場（埼玉県朝霞市）

2日間に亘り令和7年度第2回糸東会トップアスリートナショナルチームの強化合宿が埼玉県朝霞市の糸東会本部道場で行われた。参加選手は、23日18名・24日19名の延べ37名が猛暑の中、選手強化委員会井戸委員長をはじめとするコーチ陣と強化練習に臨み、いい汗をかいた。そして、2025年度プレミアリーグ参戦者の東佐江子選手、北口歌桜選手、佐藤優輝選手、町田康裕選手及びシリーズA参戦者の大槻瑛士選手に対して、糸東会より補助金の贈呈が井戸委員長より手渡された。各選手からは今後糸東会に寄与していきたいと感謝の言葉が述べられた。



参加者全員による集合写真



選手強化委員会井戸委員長をはじめとするコーチの先生方



海外派遣の選手の皆さん

大槻瑛土選手・町田康裕選手・佐藤優輝選手・東佐江子選手

(北口歌桜選手は当日都合により欠席)



形選手練習風景



贈呈式の様子



組手選手練習風景



基本練習の様子

練習後のミーティングの様子

海外派遣選手よりのお礼の言葉

昨年に引き続き、シリーズAザルツブルグの援助をしていただき、本当にありがとうございます。

2年連続このような形で援助していただけることは、当たり前ではなく、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

昨年のシリーズAでは悔しい結果に終わりましたが、今回は必ず良い結果を報告できるよう、最高の状態で試合に挑みます。

皆様の期待に応えられるように、糸東会トップアスリートとしての演武をして参ります！

大槻瑛士



この度は、プレミアリーグという大きな舞台に挑戦する機会をいただけたこと、心より感謝申し上げます。大学時代から海外で戦いたいという思いは強く持っていましたが、自分一人の力では、金銭的な理由や大学の授業でなかなか実現できずにいました。その一方で、他大学の選手たちが積極的に海外へ挑戦している姿を目にし、悔しさや焦りを感じたことを今でも鮮明に覚えています。

しかし、社会人となった現在、糸東会の皆さまの多大なるご支援をいただけるようになったことで、シリーズAに参加することができ、今ではプレミアリーグまで出場できるようになりました。

これは、自分一人では到底叶えることのできなかった経験であり、糸東会の皆さまのご厚意と後押しがあって初めて実現できたものです。

こうして世界の強豪と直接対峙し、肌でレベルの高さを感じながら学べる機会は、自分の競技人生において大きな財産となっています。そしてその経験を通じて得られる気づきや成長を、これからの競技活動に必ず活かしていきたいと思えます。

今回のご支援を無駄にすることなく、結果で恩返しできるよう一層努力を重ねてまいります。そして糸東会の一員として誇りを持ち、挑戦を続けていきたいと思えます。本当にありがとうございます。

佐藤優輝



いつも手厚いご支援をしていただきありがとうございます。

私が海外挑戦に踏み切ることができたのは、糸東会のバックアップがあったからこそです。

今後も感謝の気持ちを胸に、糸東会の代表として誇れる選手になれるよう精進してまいります。

そして何より、結果で恩返しができるように一戦一戦を大切に戦っていきますので、これからもご声援のほどよろしく願いいたします。

町田康裕



初めてシリーズAに出場した時から、糸東会のサポートを受けさせていただいています。こうして今自分がプレミアリーグに挑戦出来ているのも、糸東会のサポートがあったからこそです。本当に感謝しています。

その感謝を結果で恩返ししたいと思い、挑戦を続けていますが、やはり世界の壁は大きいと痛感しています。

今年残すは国内大会のみとなりました。糸東会の代表として少しでも貢献できるよう、また、糸東会に所属していることを皆さんに誇りに思っていただけのような演武を目指し、精進します！これからも応援の程、よろしくお願い致します！

東佐江子



この度のプレミアリーグ参戦にあたり、糸東会の皆様より温かいご支援をいただき、心から感謝申し上げます。皆様のお力添えがあったからこそ、世界のトップ選手と競い合う舞台に立つことができました。今回得た学びを糧に、さらなる高みを目指し、結果で恩返しできるよう努力してまいります。

北口歌桜





第8回レベルアップ講座（九州地区）

日時：令和7年8月24日（日）9：30～17：00

場所：サン・あもり体育館（鹿児島県霧島市隼人町）

講師：山岡 硯太郎 1級資格審査員

小野 和宏 1級資格審査員

委員：南 聡朗 指導委員会副委員長

前野 弥栄子 指導委員会委員

高橋 秀和 指導委員会委員

参加者：23名

一級資格審査員の山岡硯太郎先生・小野和宏先生を講師にお迎えし、第8回レベルアップ講座が鹿児島県サン・あもり体育館に於いて行われました。

九州圏内だけでなく広島、山口、より総勢23名の参加者を迎えました。

午前、午後共に4グループに分かれ、師範、準師範、助教、糸東会4～8段の段位取得を目的とするそれぞれの受講者に対して講義を行なっていただきました。

開講式において山岡先生より、「わからないところがあれば、どんどん質問するように」とのお言葉をいただき、各グループで、資格、段位取得に向けた指導をいただき、受講者からは多くの質問が飛び交っていた。

また、指導者として間違った動きや立ち方、姿勢、運足、目付けなどに対する生徒一人ひとりの挙動を見逃さない指導の重要性について、繰り返しご指導を受けました。

段位取得に向けた指導は、指定型、自由形、特に十三、シソーチン、五十四歩、八歩連を入念に見ていただき、各自の形のご指導を受けました。

午後からは、駆けつけていただいた九州地区協議会顧問 青木先生より「心技体を教えられる指導者に向かって頑張るように」とお言葉を頂きスタートしました。

全体を通して、指導方法や形の分解やその応用など細かい部分までご指導いただき充実した内容となりました。

閉講式において小野先生から、今年度最後のレベルアップ講習会となりましたが、受審までに時間がある受講者も、講習会を受講するにあたっての事前準備の重要性と審査に向けた日頃の練習に対する心構えについての講評をいただいた。



参加者全員による集合写真



講習の様子